

第4集「現代都市論の視角」(1987)

1. シンポジウム「現代都市論」をめぐって

その1 現代都市の分極化と自治 中田実 3

その2 現代都市論の課題と展望 矢澤澄子 14

2. 都市における階級と家族 鎌田とし子 29

3. 生活様式としての都市 岩崎信彦 57

4. 都市としての盛り場—都市概念に関する若干の考察— 吉見俊哉 83

5. 現代都市計画と都市の運動—「首都改造」と中枢管理化への抵抗— 似田貝香門 115

研究ノート

都市と国家—情報とルールの権力理論— 藤田弘夫 149

「市場関係の凝集点」規定について—都市社会理論の予備的基礎分析・序— 大澤善信
179

北海道の被爆者—戦争・原爆被害と戦後の軌跡— 笹谷春美 213

書評

「大都市」の社会学的分析と課題—奥田道大著『大都市の再生—都市社会学の現代的視点』— 三本松政之 249

守屋孝彦・古城利明『地域社会と政治文化—市民自治をめぐる自治体と住民』 浦野正樹 255

田野崎昭夫編『企業合理化と地方都市』 小内透 261

菅野正・田原音和・細谷昂著『東北農民の思想と行動—庄内農村の研究』 柄澤行雄 267

資料 現代都市論文献年表(1970年～1984年) 渡戸一郎・藤田弘夫 273

編集後記 矢澤修次郎 315